

1 学校教育目標

2 目指す姿（学校像・園児児童生徒像・教師像）

<p>自立性のある子どもを育てる</p> <p>《校訓》 明るい 強い 考える</p>	<p>「学校は子どもたちのためにある」ということを前提に、「子どもにとって今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」をめざす。</p>		
	<p>《めざす学校像》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童が学校や社会のきまりを守り、秩序と規律があり安全で楽しい学校 ○教育の専門機関として「確かな学力」「生きる力」を育成する学校 ○保護者が安心して子どもを任せられる学校 ○地域の人々が誇れる学校 	<p>《めざす児童像》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よく考える子ども（知） ○やさしい子ども（徳） ○たくましい子ども（体） 	<p>《めざす教職員像》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育の専門家としてプロ意識を備えている教職員 ○公務員としての自覚と教育者としての使命感をもち、率先垂範して服務規律の確保に努める教職員 ○組織の一員として責任を自覚し、保護者と地域への説明責任・結果責任を果たすことができる教職員

3 現状と課題

地域は、創立144年になる己斐小学校を地域の要として大切にされ、「己斐小応援隊」等の支援体制は充実している。児童は、自己表現が豊かで積極的に集団をリードしていける児童と自己肯定感が低く自ら学ぶ姿勢が弱い児童との二極化の傾向が大きい。生活習慣の乱れが顕著な児童もいる。言葉の荒れや不足からくるトラブルもある。各家庭の学校への理解・協力も振れ幅が大きい。休憩時間や放課後に、問題行動の対応や保護者連絡は欠かせない状況にある。CRTを実施して2年目となるが、その結果、3・2・1（CRT得点による評定）が国語では1と判定された児童が学年・学級により開きはあるが、7%台～40%、算数では12%～52%と2極化の傾向が強い。学習の定着は、関心・意欲・態度に影響を及ぼしている。授業中の無気力や私語・立ち歩き、指導無視につながることもある。児童一人一人に「生きる力」を育てていくためには、授業改善をすすめるとともに、学校全体の教育活動を見直す必要がある。また、学校・家庭・地域・中学校区小中学校の連携により「まちぐるみの教育」の一層の充実・発展を図る必要がある。

4 目標

<p>【中期経営重点目標】 美しい学校環境を整え、「あじみ」（挨拶、時間、身だしなみ）の徹底を図り、明確な目標に向かって努力し、変化・成長する自分を見いだし、自分に自信をもてる児童を育成する。</p>		<p>【評価指標】</p>
短期経営重点目標（1年目）	評価指標	主な具体的方策
<p>【学力・体力の向上】 学習規律を徹底し、質の高い授業を創造し、思考力・表現力・コミュニケーション能力を向上させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○CRT評定1の割合の変化 ○8の字跳び学年目標達成 ○不読率6.2%の減少 ○児童・保護者アンケート評価85%以上 	<p>①学習規律や話す・聞く「あいうえお」等をより一層指導の徹底を図り、「己斐小スタンダード」にそった授業を全教諭2回以上の公開や10回以上の授業観察を行うことで授業力を向上する、（授業評価カード10枚の記入）</p>
		<p>②図書館の三機能を活用した学習を実施し、探求的な学習を進めていき、思考力を育てる。</p>
		<p>③外遊びの励行と校内ドッジボール大会・長縄大会等の体育的行事及び体育の授業改善で体力づくり向上をはかる、</p>
<p>【徳性の涵養】 明確な目標を設定し、その達成に努力する子どもを育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学級力向上アンケート ○児童・保護者アンケート評価85%以上 ○「己斐小おすすめの本50冊」の学年目標冊数の達成率の経年変化 	<p>④己斐中学校区「あじみ」を徹底する。（あ＝挨拶・じ＝時間・み＝身だしなみ）</p>
		<p>⑤「己斐小おすすめの本50冊」を奇数学年は25冊以上、偶数学年は完読をめざす。</p>
		<p>⑥学級力向上のために、年3回以上「スマイルタイム」をもつことや「スマイルミーティング」により、自治的・主体的に学級の課題を話し合い、解決していこうとする意欲や力を育て、担任の学級力マネジメント力を向上する。</p>
<p>【まちぐるみの教育の推進】 自ら課題をもって「己斐学習」に取り組み、自尊心や自己表現力を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○己斐学習の感想 ○講師の感想 	<p>⑦児童の自尊感情を高めるために一人一人あった声かけを授業や生活の中でしていく。</p>
		<p>⑧児童自らが課題をもって「己斐学習」を実施することで、己斐に誇りをもち、自分の生き方に生かす学習をさせる。</p> <p>⑨体育の記録会、文化の祭典、科学賞、文集ひろしま、読書感想文等に積極的に参加させ、表彰の機会をもつ。</p>